

# 犯罪

〔特集〕

## 犯罪をめぐる思考

## リセットの誘惑

● シュブUNK! ホンマタカシ

● 犯罪とその表現 青山真治・桜井亜美・斎藤環・井口時男・鈴木隆之

● 犯罪は何を変えたか 各界20名からの回答(秋吉久美子ほか)  
なだいなだ・長谷川真理子・大林雅之

● 犯罪の病理と真理 間庭充幸・斎藤環・藤井誠二

● 直視への意志と画家たちは何を見つめたか? 柏原えつとむ  
(ジエリコー・山下菊二・ウオーホル)

● 犯罪社会学と私と世界 大日方純夫・大庭絵里・山本功・緑川徹・大村英昭

● 「犯罪的なるもの」の可能性と黙示録  
滝本誠・氏家幹人・福本義裕・河田学・桂秀実

● 犯罪者と言葉、そして世界 藤沢周 VS 竹宮恵子

連載 戦争と思想の問題

第一回—歴史のリセットとしての戦争 川村湊 VS 鈴木隆之

# 犯罪をめぐる思考——リセットの誘惑

シユブランク！・ホンマタカシ……………2

犯罪を思考せよ 編集長＝鈴木隆之……………14

巻頭座談会

犯罪と人間——現実と表象に見る犯罪の変遷……………16

青山真治×桜井亜美×斎藤環×井口時男×鈴木隆之

【第1部】犯罪は何を変えたか……………39

●緊急アンケート●

犯罪はあなたの何を変えたか ●各界二〇人からの回答……………40

犯罪と精神鑑定——心理分析に群がる素人たち ●なだいなだ……………50

子殺しの進化生物学 ●長谷川眞理子……………64

「生命倫理学」にとって「犯罪」への「負担」は可能か ●大林雅之……………73

【第2部】犯罪の病理と真理……………81

何が少年を凶悪な犯罪に駆り立てるのか——犯罪方法論序説 ●間庭充幸……………82

「歴史の終わり」と空虚さの病理 ●斎藤環……………91

暴力は子どもだけのものか——ルポルタージュの現場から ●藤井誠二……………100

直視への意志 画家たちは何を見つめたか？ ●柏原えつとむ……………105

ジェリコー／山下菊二／ウォーホル

【第3部】犯罪社会学——私と世界……………121

社会的構築物としての犯罪 ●大庭絵里……………122

近代国家にとって犯罪とは何か ●大日方純夫……………130

「援助交際」をめぐる被害者レベルのポリティクス——東京都議会の論戦から ●山本功……………138

「トリック」としての人足寄場——塙の中の創られた伝統 ●緑川徹……………147

男性に照準した新たなジェンダー論を ●大村英昭……………158

【第4部】「犯罪的なるもの」の可能性と黙示録……………167

アートと化す犯罪映画——ジキルはいかにハイドを愛したか？ ●滝本誠……………168

江戸残酷物語 ●氏家幹人……………176

フィクションと犯罪——そのインターコース ●河田学……………184

殺人と暴力と物語と ●福本義裕……………193

文化としての犯罪 ●絳秀実……………202

特別対談

犯罪者と言葉、そして世界 藤沢周 VS 竹宮恵子……………211

【連載】戦争と思想の問題——第一回

歴史のリセットとしての戦争 川村湊 VS 鈴木隆之……………227

## 読カレビュー 2000

文学 鈴木隆之……………240

マンガ 山本順也……………242

映画 福岡正藏……………244

デザイン 上野真知子……………246

フライングアート 森口まどか……………248

芸能と若者文化 石田涼……………250

インターネット 海辺舜……………252

環境 山田國廣……………254

科学 斎藤光……………256

思想と時事 松尾眞……………258

執筆者・論者プロフィール……………260

編集後記……………263

## 木野評論 32

編集長……………鈴木隆之

編集委員……………石田涼

柏原えつとむ

斎藤光

佐藤正幸

竹宮恵子

藤岡昭治

山田富秋

編集補佐……………日沖桜皮

河合篤子

AD……………大杉泰正

デザイン……………大杉泰正

谷浩志

西村映美

写真……………尾形隆夫

横島倫子

編集・発行：京都精華大学 情報館

京都市左京区岩倉木野町137

京都精華大学情報館 文化情報課

TEL 075-702-5343

FAX 075-705-4076

E-mail bjoho@kyoto-seika.ac.jp

発売：株式会社 青幻舎

京都市中京区御池通東洞院東入

ロマンビル501

TEL 075-252-6766

FAX 075-252-6770

制作：有限会社 桜風舎

アイアールデザインスタジオ

製版：株式会社 シンクス

印刷：日本写真印刷株式会社

発行日：2001年3月15日